

改めまして、本日は受賞おめでとうございます。講評ということで、少しお話をさせていただきます。

すべての作品を見させていただきましたが、受賞されたみなさんの作品は、やはり一味違います。とくに2つの点で優れていると思いました。

一つ目は、自分のオリジナルの発想を大切にしている点です。なぜだろう？ どうしてかな？ という自分が抱いた疑問に対して、こうかもしれないという自分なりの仮説を立てて、いろいろな方法で調べて、その情報を組み合わせながら、自分の結論を導き出しています。その独創性に大きな価値があると思いました。

二つ目は、とくに大事なことです。ネットで「それらしい情報」を拾って満足していないということです。みなさんは、図書館を効果的に活用した学び方をしています。本からは、最先端の専門家から古代の哲学者に至るまで、あらゆる分野の達人たちの知恵を得ることができます。様々な本を上手に活用していると思いました。

ネットはとても便利ですね。あと何分で雨が止むとか、電車の乗換えや込み具合まですぐに分かります。いろいろな予約もあつという間にできます。

でも、みなさんが調べ学習の道具として使うとしたら…、どうでしょう。根拠が不明なネット情報をそのまま信用してもいいでしょうか。間違っていたり、嘘のことが書かれていたり、自分にとって都合の良い情報だけを集めてしまう可能性もあります。

みなさんの探究的な学びには「その先」があります。「そこに知らないことがあることを知らなかった」ことに気付く学びです。学べば学ぶほど、自分の世界が広がっていくことを実感します。興味や関心に導かれるまま「真剣に学ぶ」ことが、自分の世界を広げる終わりなき旅となります。学びを続けていただき、また来年も、調べる学習コンクールに挑戦してください。